

和風会便り



Vol. 105

発行日、2025. 1. 9

発行、和風会中島病院 広報



年頭挨拶（2025年）



令和7年1月4日
理事長・院長 中島 弘文

新年あけましておめでとうございます。昨年、当院の業務に対してご理解とご支援を頂きましたことに篤く御礼を申し上げます。中島病院がより良い医療機関へ成長できるように、本年もご協力とご支援をお願い致します。

昨年は、2月の旧専売公社跡地の取得、5月の上春先生着任、7月の電子カルテと外来運用方法の変更、8月の法人形態の変更、9月の坂井先生着任、10月の神輿巡業と様々な出来事がありました。

当院として大変な思いをしたのは電子カルテ変更と診療報酬改定でした。電子カルテのベンダー更新は全職員に予想以上の負荷となり、一部の職員に多大な時間外労働を嫁すことになりました。外来も予約制に変更したことで、通院される皆様にもご迷惑をおかけしました。まだまだ混乱が続いており、外来の診療体制は見直しを継続していかなければならない状況です。

6月に行われた診療報酬改定は厳しい内容であり、人件費や納入品物価の上昇もあり、全国の病院の2/3以上が赤字経営になっています。国内の医療費の増加は、ほぼ高額な薬剤費となっています。当院は本年度の職員給与を平均で5.6%増額できましたが、来年度も昇給が出来るようにしたいと考えています。生活費も上昇していますので、子育てをしている職員の生活や未来を守る必要がある訳です。

大都市以外の地域では患者減、就労者減が深刻です。通院者を確保するため、全職員が一丸となり、地域の皆様、同業者、行政職員から愛され信頼される医療機関へ革新していきます。働く仲間を確保するため、就労条件

を改善し、働きやすい職場風土を醸成していきます。

当院は本年で創業147年です。創業200年を目指すため、厳しい医療情勢の中を全職員の叡智を結集して乗り切りたいと考えています。

本年は10月の徳守神社大祭での神輿巡業、11月の糖尿病市民公開講座の開催を予定しています。神輿ライトアップは昨年の問題点を解決し、皆様に感動を共有できる内容に改善します。糖尿病市民公開講座は運動療法を中心とした内容で演者を選定中です。当院の診療目標は「人工透析ゼロ・脳梗塞での寝たきりゼロ」です。通院されている2,000名を超える糖尿病患者の皆様がこの目標を達成するため、全職員が患者様と一緒に病気のことを考えることが出来るように努めていく一年としていきます。

中島病院は引き続き内科専門病院としての地域医療における役割を果たしていきたいと考えています。当院の問題点や業務改善でお気付きのことがありましたら当院職員へ申し出て頂ければ幸いです。

【病院の基本理念】

私たちは、地域に信頼される内科専門病院として、良質な全人的医療を提供いたします

【中島病院の長期目標】

Hospitality No.1

「病院におけるHospitality（ホスピタリティ）」とは

安心・安全で最高の医療を提供するだけでなく、相手だけではなく自分も一緒に、

幸せな気持ちになれるような所作をすること。

「一人を幸せな気持ちにできる人は、すべての人を、そして自分自身を幸せにできる」

